

ダムの歩き方 特別編

ハッ場ダムの歩き方

ハッ場ダム
見学ツアーを
実施中!
→詳細は本誌P.4

群馬県、吾妻エリアで楽しむ

新しいダムエリア観光ガイド



ダムは吾妻エリアの中心にある!

ハッ場ダムがあるのは群馬県北西部の吾妻エリア。日本一の自然湧出量を誇る「草津温泉」の入口である長野原町にダム湖「ハッ場あがつま湖」が広がっています。

長野県と群馬県の県境である鳥居峠の東側に流れを発し、吾妻エリアを東西に横切って流れる吾妻川は、山間部を抜けて関東平野に出るあたりで利根川に合流します。この吾妻川に造られたのがハッ場ダムです。

2020年に完成。計画から68年も

終戦直後の1947(昭和22)年9月、「カスリーン」と名付けられた台風が関東地方を直撃しました。広範囲に降った大雨のために利根川や荒川が氾濫し、神奈川県を除く1都5県で、死者1100人、浸水家屋30万戸以上という甚大な被害をもたらしました。この大災害を受け、利根川に流入する水量をコントロー

ルすべきという声が高まり、群馬県内に複数のダムの建設計画が立案されました。そのひとつが吾妻川に建設するダム、今日のハッ場ダムでした。

5年後の1952(昭和27)年に吾妻渓谷にダムを建設することが長野原町に伝えられましたが、当時は目まぐるしく社会の情勢や環境が変わっていた戦後の復興期。治水だけでなく、人口増による水不足や工業用水の確保の必要も出てきました。

そのひとつひとつを解決し、社会情勢に合わせて計画変更などを行っていったため、実際にダムの工事が着工されたのは最初の計画から63年後の2015年。そして2020(令和2)年3月31日、遂にダムは完成し、そして翌日の4月1日から運用が開始されました。

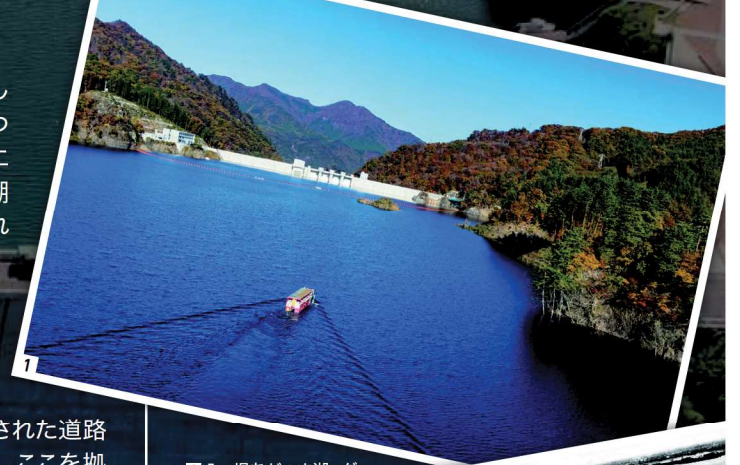
新しい水の風景と観光エリアが出現!

治水、利水、電力の供給。ダムの役割はそれだけではありません。ダム湖には、さまざま

なアクティビティを楽しむ場所としての機能もあります。ハッ場あがつま湖が誕生したことにより、吾妻エリアに美しい水の風景が現出し、湖を拠点にたくさんの楽しみが生まれました。水陸両用バス、湖でのカヌーやカヤック、湖を眺めながらのキャンプやバーベキューなど、それまでなかった観光資源が誕生したのです。

またダムの建設にともない整備された道路のおかげで移動はスムーズになり、ここを拠点にして周辺エリアを訪れることも容易になりました。800年以上の歴史を誇る川原湯温泉も新たな場所で再始動し、一方で古くから続く祭りの伝統はしっかり受けついでいます。

豊かな自然や温泉など、これまであったものに加えてハッ場ダムという新たな顔をもったこのエリア。今後ますますの発展が期待できそうです。



1 ハッ場あがつま湖。ダム湖が観光拠点になっている。2 1947年カスリーン台風で堤防が決壊した埼玉県栗橋周辺。3 800年以上の歴史がある川原湯温泉

所蔵:アメリカ公文書館
提供:防災科学技術研究所
(写真はトリミング加工しています)



3

の歩き方

ハッ場ダムを徹底解説

2020年3月に完成したハッ場ダムは、吾妻エリアを象徴する新しい顔です。

ダムと周辺エリア



上流側から見るダムの堤体

ハッ場ダムDATA

データ	●型式: 重力式コンクリートダム
	●堤高: 116m
	●堤頂長: 290.8m
	●ダム体積: 99万1000m ³
	●総貯水容量: 1億750万m ³
	●目的: 防災操作、流水の正常な機能の維持、新規都市用水の供給、発電
	●河川: 利根川水系吾妻川
	●流域面積: 711.4km ² (利根川上流ダムで最大)
	●洪水調節容量: 6,500万m ³ (利根川上流ダムで最大)

ハッ場エリアは
さまざまな魅力が
いっぱい!

つなぐカンパニーながのはら
ハッ場ダム見学認定ガイド
小林香津子さん



ハッ場ダムの役割

●防災操作

台風のシーズンには洪水に備えてあらかじめダム湖の水位を下げておき、大雨による洪水がダム湖に流入したときは、その水を一時貯め、川への放流量を減らして下流域の洪水被害を軽減します。

●流水の正常な機能の維持

ダムの下流にある景勝地、吾妻渓谷の景観などを維持するために、流れる水量をコントロールします。

●新規都市用水の供給

群馬県および下流にある都県の都市用水を供給します。水道水は群馬県を含む1都4県に、工業用水は群馬県と千葉県の2県にそれぞれ供給します。

●発電

ダム下流に設置された発電所で最大出力1万1700kWの発電を行います。

ハッ場ダムの特徴

●現地再建方式を採用

国内の各地域のダムでは、住民が他の地区へ移転する事例が多くなっています。ハッ場ダムでは、地域コミュニティを保持することを目的に、かつての集落の山側に代替地を造成して移転する「ずり上がり方式」を採用しています。

●上流地域の経済活動の存在

ダムの建設地は、一般的に山あいの行止まりのところが多くなっていますが、ハッ場ダムの上流には、長野原町のほかに、草津町、嬬恋村、旧六合村の3町村があり、約2万人が生活するという経済活動が存在しています。

つなぐカンパニーながのはら
ハッ場ダム見学認定ガイド
豊田香織さん

ダムの役割に
についても覚えて
おきましょう。



ハッ場ダムとその周辺の

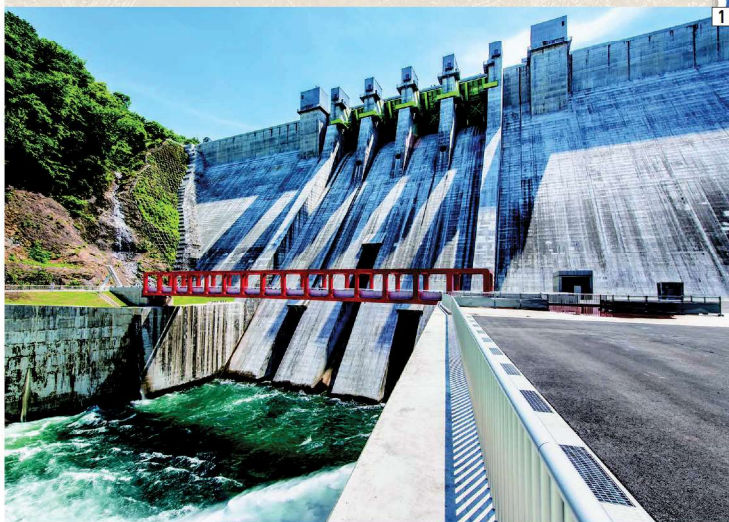
ダムエリアを

ダムの魅力は風景に溶け込んだ自然との一体感と巨大構造物の圧倒的な存在感です。間近でダムを見学したら、周辺地域の歴史が学べる博物館を訪れてみましょう。

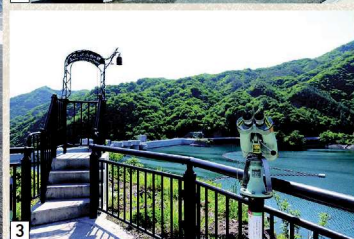


近くで見ると
迫力満点!

学ば



①ダム堤体を下から見上げる ②広々としたハッ場ダムの堤頂 ③湖に突き出した展望スポット「やんば見放台」



ハッ場ダムの現在の役割を学ぶ ハッ場ダム堤体見学

ハッ場ダムは、堤体の上と下を結び、誰もが利用できるエレベーターがある全国でも珍しいダムです。まずはダムの最上部である長さ290.8mの堤頂(ていちよう)から上流側(湖側)と下流側の景色を見比べてみましょう。ハッ場あがつま湖ののどかな湖の風景に対し、高さ116mの場所から見下ろす吾妻渓谷は迫力満点。次はエレベーターで下りてみましょう。下から見上げるとダムの印象はまったく別物。その存在感に圧倒されます。

ハッ場ダム見学ツアー ●2023年4月から11月の毎月第2日曜日(8、10月は第3日曜日)に、普段は入ることができない堤体内部を見学できるツアーが実施されます。各日午前と午後2回で、各回定員は15名。申し込み順となります。申し込み方法等は、つなぐカンパニーなののはらのホームページ([URJ tsunacom.or.jp](http://urj.tsunacom.or.jp/))をご確認ください。「私たち、つなぐカンパニーなののはらハッ場ダム見学認定ガイドのご案内します」

見学に来よう
下さい!



なるほど! やんば資料館



①ハッ場ダムの歴史をたどる展示。中央には巨大なジオラマが②ダム湖を望む建物③ダムカードの入手もここで

1階はハッ場ダム誕生の背景から工事、そしてダム完成にいたるまでの歴史をパネルや映像などでたどります。2階はダムの構造や周辺の地理、そしてダムの役割を模型などで解説しています。

住長野原町川原畑1121-31 電話0279-83-2560(利根川ダム統合管理事務所ハッ場ダム管理支所)
開9:30~16:30 休無休 料無料

吾妻エリアの歴史を深く掘り下げる やんば天明泥流ミュージアム

ハッ場ダムの建設工事にともなう埋蔵文化調査では、吾妻川流域約100万㎡のエリアを26年の歳月をかけて発掘調査が行われました。その結果、縄文時代から江戸時代までの1万年以上の期間の遺跡が折り重なるように発見され、その調査結果が見られるのが「やんば天明泥流ミュージアム」です。1783(天明3)年に浅間山の噴火で発生した泥流によって埋没した多くの村落が広範囲で発見され、当時の人々の生活を知る貴重な資料となりました。泥流が発生した1783年8月5日の1日をドキュメンタリー風に映像にまとめた「天明泥流体感シアター」、江戸時代の遺物を展示した「天明泥流展示室」、泥流以前の時代のものを展示した「テーマ展示室」がみどころです。



①当時の生活が生々しいほどに伝わってくる展示品。泥に埋もれていたために驚くほど保存状態がいい ②泥の中から出てきた梅干を漬けていた樽。中には梅の種が残っていた ③縄文時代の土器も多数発掘されている



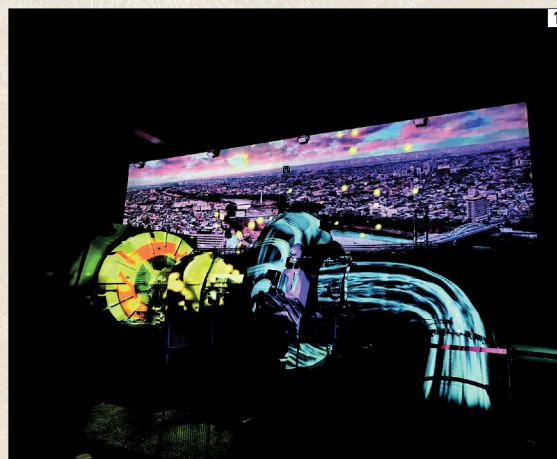
住長野原町林1464-3 電話0279-82-5150
開9:00~16:30 休水曜 料600円

未来の日本を支える発電所を訪れる ハッ場発電所見学

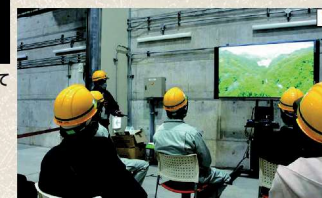
ダム直下には、ハッ場発電所が設置されています。ダムの放流水を利用して、一般家庭約1万2000世帯分の消費電力に相当する、年間発電量約4200万kWhの電力を再生可能エネルギーにより供給し、脱炭素社会の実現にひと役買っています。

■ハッ場発電所見学ツアー

ダムの重要な施設である発電所の内部を無料で見学できる。ツアーが催行されるのは毎週金~月曜までの4日間と祝日(年末年始を除く)。見学時間は1回約30分で、1日5回(受付時間:10時、11時、13時、14時、15時)。小学生以上が対象となる。予約は不要で、上記の受付時間にハッ場発電所の入口で申し込む。



①実際の発電機にプロジェクションマッピングで映像を投影して発電の仕組みを説明 ②見学ツアーの前のガイダンス



●問い合わせ
群馬県吾妻発電事務所
電話0279-75-2746
(平日10:00~16:00)

ハッ場ダムのすぐ近くまで行きます

1

2

3

①自分のペースで走ろう ②乗車は4人まで ③かつて日本一短い鉄道トンネルとして知られた樽沢トンネルをぐり抜ける

ハッ場ダムの工事にともない付け替えとなったJR吾妻線の旧線路を使ったアトラクション。レールの上を走るので列車の運転手になった気分。定員は2~4人でペダルをこぎながら吾妻峡の景色を眺めてみて！

●問い合わせ
東吾妻町吾妻峡周辺地域振興センター
住 東吾妻町松谷868-1 ☎0279-26-9431
運行時間 始発9:25、1日9便 所要時間約25分(片道)
休水・木曜 料 3人乗り 片道3000円/往復5000円
4人乗り 片道3500円/往復6000円

しっかりこいで進むのでいい運動にもなります！

吾妻峡レールバイクアガッタン

代表的な楽しみを紹介！

豊かな自然に抱かれて

ハッ場ダム周辺を楽しむ

ハッ場あがつま湖は、吾妻エリアの新たなアクティビティの拠点。満々と水をたたえた美しい湖の周辺には楽しみがいっぱい。

水陸両用バス

道路も走るし湖も進めるユニークな水陸両用のバスに乗ってハッ場あがつま湖を遊覧。バスが大量の水しぶきをあげて湖に突っ込む瞬間は見もの。湖に入ると一転静かに進む、そのギャップも楽しめます。

近くで見るとカラフルでかなり大きなバス

勢いをつけて湖へダイブ!!

周りをぐるりと山に囲まれた湖の上は別世界のように

水陸両用バスのドライバー(パイロット)は自動車の大型免許のほか船舶の免許も必要だそう

住 長野原町横壁904-3
HP <https://gunma-kanko.jp/spots/1264>

ツアー発着地 湖の駅丸岩

川原湯温泉の湯と本格的なキャンプが楽しめる

川原湯温泉あそびの基地 NOA

JR吾妻線川原湯温泉駅の目の前にある「あそびの基地NOA」。土日は持ち込みのキャンプや日帰りバーベキューができ、湖ではカヌー・カヤック・SUPが楽しめます。敷地内にカフェやクラフトビール醸造所、源泉かけ流しの川原湯温泉「笹湯」を併設し、一日遊べる施設です。レンタサイクルやカーシェアを利用して、周辺観光や買い物、散策もできます。

住 長野原町川原湯223-5
☎090-6942-1223 休月曜・火曜
※アクティビティ(キャンプ・BBQ、カヌー、カヤック、SUP)は土日のみの営業

火力の調節が簡単なので初めてのBBQも安心

静かな湖はSUPのデビューにおすすめ

子ども安全に薪割りできる

できたてのクラフトビールも飲めちゃう

あそびの基地NOAではビギナーを意識したプログラムを揃えています。湖ではカヌー、カヤック、SUPが手ぶらで体験OK。初めてでも安心のインストラクターツアーも実施しています

いっぱい体を動かしましょう

川原湯温泉醸造舎

お土産用の瓶ビールも

地元の水を使い、酵母をそのまま閉じ込めた川原湯のビールを醸造。ここでしか味わえないクラフトビールは、湯上がりにはもちろん、お土産にもぴったりです。笹湯カフェでどうぞ。

川原湯温泉 笹湯

地元の牛乳を使ったオリジナルメニューが充実

地元の牛乳屋さん「豊田乳業」の牛乳・バターを使用したカフェ。湯上がりはコーヒー牛乳、いちごミルクがおすすめ。テラスからは湖のパノラマが見渡せます。

川原湯温泉にある2つの日帰り温泉施設のひとつ。頼朝公が発見し、嘉納治五郎師範が愛した温泉です。男湯女湯ともに源泉かけ流しで、内湯と露天風呂を完備。肌に優しく、体の芯まで温まります。

開 12:00~18:00 休月曜・火曜
料 990円 ※施設利用者は660円

楽しく 郷土料理からダムカレーまで

おいしい

食スポット

ハッ場グルメを堪能ください



ハッ場あがつま湖周辺の食スポット、道の駅、湖の駅を紹介。

どの店も湖の周りにあります



不動大橋のたもとにある道の駅ハッ場ふるさと館。人気のダムカレーは施設内の「ハッ場食堂」で。観光拠点のなかでダムに一番近く、レンタサイクルの貸し出しや無料の足湯も。

住 長野原町林1567-4 電0279-83-8088
営8:30～18:00(季節変動あり)
休 冬季隔週水曜

道の駅は周辺観光の拠点で情報が入手可。また施設内の直売所は地元の野菜や名産品、各種土産が豊富



道の駅
ハッ場
ふるさと
館

ハッ場ダムカレーは
特注の器で



ダムの下流に位置する道の駅あがつま峡は、景勝地・吾妻峡へのハイキングの出発地。農産物の直売所、地元の米や旬の野菜を使ったグルメ、天然芝のドッグランと施設充実。アガタンの出発駅はすぐ近く。

住 吾妻郡東吾妻町大字三島6441
電0279-67-3193
営9:00～17:00 休 水曜

日帰り温泉で至福のひとときを

食事処「あがつま亭」では地元食材のグルメが充実。ふわとろオムライス(下)とデビルスタンバーガー



道の駅
あがつま
峡

創業150年の浅間酒造が手がける酒蔵ピッツェリア。酒粕を使い、窯で焼き上げた生地はもちもちの食感。名産の舞茸など群馬の食材が贅沢に使われています。

住 長野原町長野原1392-10(浅間酒造観光センター2階)
電0279-82-2045 営11:00～15:00
休 火曜・水曜(冬期変動あり)



ハッ場
湖の駅
丸岩

湖の南側、丸岩大橋のふもとにあり、旧長野原町役場庁舎を再現した建物の1階。こだわりのカレーやラーメン、各種定食が人気です。湖の駅丸岩は水陸両用バスの発着点。

住 長野原町横壁904-3
電0279-82-5596
営9:30～16:30 休 水曜



ハンバーグをのせた「丸岩カレー」が名物。「いもんぶらんソフト」はおやつにぴったり



酒粕を使った窯焼きもちりびざ

左は「六合産舞茸と赤城鶏のピアンカ」、右は「川場村産生ハムと新鮮野菜のサラダピッツァ」

KURATORIA
150



ベテラン料理人がひとりで切り盛りするレストラン。メニューが豊富で群馬のソウルフード「ソースかつ丼」や上州の郷土料理「お切込みうどん」も人気です。

住 長野原町川原湯454-109
電0279-83-2552
営11:00～15:00 休 木曜
川原湯温泉街の一角にある、赤いえんとつが立っている山小屋風の建物がお店



キッチン
赤い
えんとつ



ベテランシェフが作るご当地料理



しっかりととしたこしのある
うどんが魅力

うどん専科
麦の香り

ポリウムたっぷりのうどんが人気の店。手打ちで弾力感のある麺はのど越し抜群。サクッと揚げられた天ぷら、自家製こんにゃくもご賞味あれ。

住 長野原町川原畑994-11
電0279-82-1109
営11:00～14:00 休 水曜・木曜



ハッ場ダムのすぐ近くにある

ダムの建設を機に店の場所が変更りましたが、長年地元で支持されてきた蕎麦の味は変わりません。地元のマイタケ天ぷらとの組み合わせはベストマッチ。

住 長野原町川原畑991-6
電0279-83-2501
営10:00～15:00 休 不定休
場所はハッ場ダムの近く。太い柱と梁の建物にも注目



そば処
やんば



地元の蕎麦粉で
打った絶品蕎麦

昔からリウマチや関節痛によく効くといわれていた川原湯温泉。新しい温泉街は、ハッ場ダムの建設によりかつての場所から80mほど高い所に移転しました。新たな源泉が掘り当てられ、湖を見下ろすように温泉旅館と共同浴場が営業しています。どの宿も小規模でアットホームなサービスが受けられ、源泉かけ流しの温泉を堪能できます。

川原湯温泉協会
HP www.kawarayu.jp



800年の
歴史を誇る名湯

川原湯温泉に泊まる

伝承によれば、1193（建久4）年、この地に狩りにやってきた源頼朝により発見された。ダム建設にともない新たな源泉を掘りあてた、古くて新しい名湯。

優しいお湯で
温まろう

川原湯温泉 共同浴場 王湯



1 源泉は80度近い高温
2 入口には源氏の家紋が

露天風呂から木々の間に湖が見える共同浴場。若干の硫黄臭はありますが無色透明の湯は昔と同じく関節痛や筋肉痛に効能あり。

往 長野原町川原湯491-6
電 0279-83-2591（川原湯温泉協会）
開 10:00～17:30
休 1/1、1/20、第3木曜 料 500円

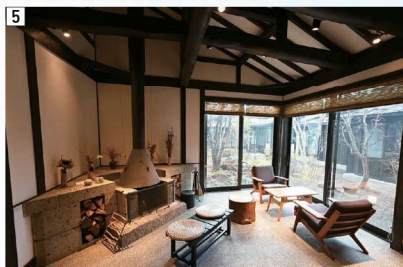


1 こたつがよい雰囲気。客室の窓の外は湖 2 宿の創業は1661年。多くの文人墨客が宿泊した 3 古い蔵を改造して造られた図書室。宿泊客は無料で利用できる 4 美しい紅葉を露天温泉から眺める 5 暖炉のあるラウンジスペース

江戸時代から続く老舗旅館 山木館

部屋数は全8室。古民家をリノベーションしたレトロな客室、地元食材中心の食事、季節感が感じられる露天風呂。隠れ家で過ごすような感覚が楽しめる宿。

往 長野原町川原湯454-91 電 0279-83-2221



1 自慢のディナーコース。実際は一品ずつサーブされる 2 温泉は24時間入れるのがうれしい 3 湖を望むオレンジの外壁が目印 4 ベッドは畳が敷かれた小上がりのようなスペース



食事が自慢の温泉宿 湯宿・御食事 やまきぼし

レストランを併設しており、本格的なコース料理が楽しめる（宿泊予約時にディナーの予約も）。広々とした客室と源泉かけ流しの温泉も自慢。

往 長野原町川原湯487-5 電 0279-83-2011

大きな窓から吾妻の自然を愛でる 丸木屋旅館

和モダンを基調とした6つの客室や温泉の窓から望む四季折々の自然が美しい。温泉に加えて、地元食材をふんだんに使った「田舎料理」がうれしい。



1 男女別の大浴場のほかに貸し切りの浴室も用意 2 6つの客室はすべて内装が異なる

往 長野原町川原湯490-12
電 0279-83-2121

自作の器でおもてなし やまた旅館

温泉街でダムが一番近い場所にある。自家菜園で収穫された新鮮な野菜が供される食事は宿の自慢のひとつ。隣接する工房で陶芸体験もできる。



1 大きな窓から景色も楽しめる浴場 2 部屋数は全部で4つ。静かに過ごすのにちょうどいい

往 長野原町川原湯454-51
電 0279-83-2408

ダム湖を臨む和室 ゆうあい旅館

強酸性の草津温泉の上がり湯といわれてきた川原湯温泉。畳の部屋に泊まり、優しい川原湯の温泉をじっくり楽しめる宿。ハッ場ダムの情報コーナーもある。



1 ゆったりくつろげる肌にやさしい温泉 2 全6室のうち、5室はダム湖を眺められる

往 長野原町川原湯484-5
電 0279-83-2016

居酒屋飯が味わえる 飲、食、宿 吾八

居酒屋のある民宿。食事つきのプランもあるが、メニュー豊富な居酒屋で飲食をしてそのまま民宿に泊まるといったパターンも。もちろん温泉もあり。



1 客室は全部で2部屋。民宿は山水という名前になる 2 源泉かけ流しでヒノキ風呂

往 長野原町川原湯485-8
電 0279-83-2447



奇祭！
湯かけ祭り

一年で一番寒い日に男たちがお湯を掛けあう！

頼朝の温泉発見から約400年後、突然枯涸した温泉を復活させるために、鶏を生簀にして祈願。すると再び温泉が湧きだした。それを喜んでお湯を掛けあったのが祭りの起源。毎年大寒の1月20日、ふんどし姿の男たちが赤と白に分かれてお湯を掛けあう。

お祭りは
共同浴場
王湯の前で
行われます

